

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 05-02-05	事務事業名 敬老金贈呈事業	所管部課 福祉部 高齢者支援課
-------------------	------------------	-----------------------

施策コード 笑2-2	施策名 高齢者の生きがいくりの充実	施策目標 高齢者が地域のなかで生きがいをもって人生をおくることができるまちをめざします。
---------------	----------------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	西東京市内に住所を有する高齢者に対する敬老と長寿を祝うため。	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領	
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する	贈呈方法:原則として、毎年9月に77歳・88歳の方には民生委員の方々から1万円を、100歳の方には市長又は市職員からメッセージカード等を添えて5万円を贈呈。 対象者:敬老金を贈呈する日の属する前年の9月1日から敬老金を贈呈する日の属する年の8月31日までの間に満77歳又は88歳の誕生日を迎える方、敬老金を贈呈する日の属する年の4月1日から翌年の3月31日までの間に100歳の誕生日を迎える方。		
	事業開始時期	合併前から	年度	実施形態

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		22,926	23,908	23,531	27,057
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		0	0	0	0
地方債	千円	0	0	0	0
その他 ()		0	0	0	0
一般財源		22,926	23,908	23,531	27,057
所要人員(B)	人	0.17	0.17	0.17	0.17
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	1,388	1,374	1,374	1,388
臨時職員賃金等(C')	千円	76	76	76	76
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	24,390	25,358	24,981	28,521
単位当たりコスト (E)=(D)/(贈呈対象者数)	千円	11	12	11	0

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
① 贈呈対象者数	実績値 人	2,163	2,183	2,203	
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
贈呈対象者年齢別(77歳、88歳、100歳)人数 20年度:77歳 1,682人、88歳 461人、100歳 20人、21年度:77歳 1,709人、88歳 435人、100歳 39人、22年度:77歳 1,701人、88歳 475人、100歳 27人					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 次 受領者数	目標値 人				
	実績値 人	2,163	2,183	2,201	
二 次	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	高齢者に敬老金を贈呈することにより、長寿を祝い、高齢者に生きがいを持ってもらうとともに、安否確認につながる。利用者からは、「嬉しい」などの言葉をいただいている。民生委員の方からは、普段お会いできない高齢者の方と敬老金の贈呈の際にお話することで、状況確認ができる貴重な機会になっていると聞いている。
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 祝金の贈呈 19市(祝金のみ又は祝金と記念品等の贈呈をしている市)、祝金の年齢別支給額の平均は、77歳7,400円程度、88歳11,000円程度、100歳32,300円程度である。他市では祝金以外の支給も比較的多い。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 東京都:100歳訪問、100歳の高齢者宅を訪問し、祝状と記念品を贈呈する。 ※都制度の敬老金贈呈事業は平成10年度以降廃止

事業コード 05-02-05	事務事業名 敬老金贈呈事業	所管部課 福祉部 高齢者支援課
-------------------	---------------	--------------------

施策コード 笑2-2	施策名 高齢者の生きがいがづくりの充実	施策目標 高齢者が地域のなかで生きがいをもって人生をおくることができるまちをめざします。
---------------	------------------------	---

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>第二次行財政改革大綱（地域経営戦略プラン）に基づく事務事業の見直しにより平成18年以降は70歳、95歳を対象外とした。</p> <p>昨年8月に百歳以上高齢者の所在不明問題がクローズアップされ、これを契機として、厚生労働省通知（平成22年8月5日付）では、「老人の日の記念事業に当たり、本人確認を行い、記念品等については、手渡して贈呈願いたい。」としている。敬老金の支給は本人及び家族介護者へのねぎらいもあり、意義がある。また、敬老意識の高揚にもつながる。</p> <p>市民ニーズの把握は難しいが、敬老金の配付が高齢者の安否確認を含めた状況確認の重要な方策となっており、市が主体的に取り組み、丁寧に対応していく必要があることから継続実施と考える。</p>
	事業の必要性	2	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施	
	事業主体の妥当性	3	<input type="checkbox"/> 改善・見直し	
B	直接のサービスの相手方	2	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
	事業内容等の適切さ	2	<input type="checkbox"/> 休止	
	受益者負担の適切さ	3	<input type="checkbox"/> 廃止	
C	市民ニーズの把握	1		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	1	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>西東京市は、他市と比べて敬老金の支給金額が高水準となっている。今後は実施内容を見直し、敬老意識の高揚に寄与する方策を検討されたい。</p>
	事業の必要性	2	<input type="checkbox"/> 継続実施	
	事業主体の妥当性	3	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し	
B	直接のサービスの相手方	2	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
	事業内容等の適切さ	2	<input type="checkbox"/> 休止	
	受益者負担の適切さ	3	<input type="checkbox"/> 廃止	
C	市民ニーズの把握	1		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業は、長寿の祝福という本来目的に加え、安否確認の面でも有用性を発揮しており、継続して事業を実施する意義はあるものと考えられる。</p> <p>しかし、高齢化の進展に伴う高齢者福祉関連経費のさらなる膨張が見込まれる中で、他の事業に優先して現状水準を維持すべきとまでは言えず、特に、平均寿命を下回る満77歳時の祝金給付は見直すべき時期が到来していることを踏まえ、給付対象・給付水準の抜本的な見直しを検討されたい。</p>